

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-510366(P2001-510366A)

【公表日】平成 13 年 7 月 31 日 (2001.7.31)

【出願番号】特願平 10-533244

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/02 (2006.01)

A 6 1 B 17/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 B 17/02

A 6 1 B 17/28

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 2 日 (2005.2.2)

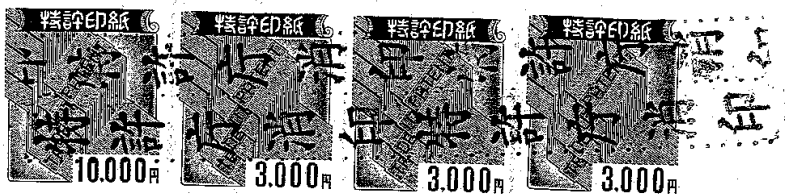
【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】補正の内容のとおり

【訂正方法】変更

【訂正の内容】



誤 訳 訂 正 書

(119,000.-)

17.2.-2

平成 年 月 日



特許庁長官 殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第533244号

2. 特許出願人

名 称 アプライド メディカル リソース
コーポレーション



3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 訂正の対象

明細書の発明の詳細な説明の欄

5. 訂正の内容

1. 明細書第6頁第21行目の誤訳訂正

明細書第6頁第21行目における”ハチ巣模様”を「格子縞（ワッフル・パターン）」に訂正する。

6. 訂正の理由等

補正前の翻訳文が、国際公開された明細書W098/02276の第6頁第17行目に記載されている用語”a waffle pattern”の意味と合っていなかったの



で、この用語の翻訳を訂正する。すなわち、明細書第6頁第21行目における”ハチ巣模様”は、PCT国際出願の明細書に記載されている英語の”a waffle pattern”を日本語に翻訳したものである。この点に関して、「ランダムハウス英和辞典（第2版）」の第3049頁を参照すると、”a waffle pattern”の翻訳として「格子縞」が記載されている。したがって、明細書第6頁第21行目における”ハチ巣模様”を「格子縞（ワッフル・パターン）」に訂正する。

7. 添付書類の目録

(1) 訂正の理由の説明に必要な資料

(参考資料：ランダムハウス英和辞典（第2版）、第3049頁、小学館、
1996年2月10日発行)

1通

NEW
SHOGAKUKAN

*Random
House*

ENGLISH-JAPANESE
DICTIONARY

ランダムハウス英和大辞典
第2版

参考資料

ンス

名
順)

小学館ランダムハウス英和大辞典 第2版 編集委員会

編集主幹

小西友七 神戸市外国語大学名誉教授

安井 稔 東北大学名誉教授

國廣哲彌 東京大学名誉教授

堀内克明 明治大学教授

編集委員

米須興文 琉球大学教授

大沼雅彦 奈良女子大学教授

池上嘉彦 昭和女子大学教授

編集顧問

Stuart B. Flexner

『ランダムハウス英語辞典(第2版)』編集主幹

小学館

棒: (一般に) 木の棒, (特に) 杖(2), ステッキ。 — *v.i.* (*-died, ~ing*) 杖を用いて棒で打つ[たたく, 傷つける, 殺す]。[1804. <ダルク(Dharuk) *wā-di* 棒]

wad-dy [wádi|wádi] *n.* [米西部カウボーイ俗] 1 カウボーイ。2 牛泥棒。[1897. 米; 語源不明]

Wade [weɪd] *n.* ウェイド。1 (Sarah) Virginia (1945-) 英国のテニスの選手。2 = Wade-Giles system。3 男子の名。

wade [weɪd] *v.i.* 1 (半分水につかって) 水中を歩く: He wasn't swimming; he was wading. 彼は泳いでいるのではなく、水の中を歩いているのだ。2 水中で遊ぶ[in ...]。3 (水・雪・砂・人込みなどの中を) やつと歩く, 歩いて行く, 骨折って通る [across, into, through ...]: ~ through the mud 泥の中を歩く / ~ across the river 川を歩いて渡る / ~ into the crowd 群衆の中に割り込んでいく。4 (比喩的) 人・動物が (…を) 苦労 [努力] して進む, やつと切り抜ける [through ...]: ~ through a dull book 退屈な本をやつと読み終える。5 (鹿) 行く, 進む。 — *v.t.* (川などを) 歩いて行く [渡る]。

wade in (1) 浅瀬に入る。(2) (話) 勢よく攻撃する; 勢よく始める。(3) (話) 干渉する; 意図的に参加する。(4) **wade into** ... = **wade into** ... (1), (2)。

wade into ... (1) (仕事などを) 精力的に始める。元氣よく取りかかる: ~ into one's new job 新しい仕事に元氣よく取りかかる。(2) (人) を激しく攻撃する(人)とけんかする。(3) *v.i.* 3。

— *n.* 1 (通例 *a* ~) (水の中の中を) 歩いていく [渡る] こと, 徒らに, 徒歩, 水の中を遊ぶこと: We went for a ~ in the shallows. 浅瀬へばちばちやりに行った。2 (通例 *a* ~) 苦労しながらの前進。3 浅瀬。[900年以前, 中 *waden* 行く, 歩いて行く, 古英 *wadan* 行く; 独 *waten* と同語源; ラテン *vadum* 砂川, 浅瀬, *vadere* 行く, 進出する] と同様。

wade-able [weɪdəbəl] *adj.* = **wadable**。

Wade-Giles system [weɪdʒɪlz] ウェード・ギルス式: 中国語のローマ字表記 (法); 英国の北京駐在公使だった Sir Thomas F. Wade (1818-95) が考案した。Herbert A. Giles (1845-1935) が改良; 中国では現在使われていない。cf. *Pinyin* (the *Wade-Giles*)。

wader [weɪdər] *n.* 1 水の中などを歩いて渡る人 [物]。2 (1) 涉禽(はつ), 渉水鳥 (wading bird) 浅い水の中を歩き歩くのに適した長い脚を持つ鳥の総称; 一般に首, くちしが長い; ツル, サギ, コウノトリ, ハシロコウ, トキ, フラミンゴなど。(2) (英) 河口や海岸に棲(す)み, 地上に巣を作る小形から中形の鳥の総称; カモメ, アジサシ, ハサミシジ, ヒレアシシ, チドリなど。3 (…の) 胸または腹までの 長靴, 脚長。[1673]

wadge [wɒdʒ] *n.* (英) = **wodge**。

wadi [wádi|wádi] *n.* (pl. ~s) (アラビヤ・シリア・アフリカ北部などで) 1 (1) 干涸(かれ)た, 砂漠地方で雨期以外は水のない河床。(2) (雨期に) 干涸(かれ)る川。2 谷 (valley)。3 オアシス (oasis)。[1839. <アラビヤ *wādī*: GUARDALQUIVIV]

Wadi Halfa [wádi|háifa|wádi|háifa] ウディ・ハルファ: アフリカ, スーダン北部, Nile川に隣り旧町: Aswan High Dam によって壊れた Nasser 湖の一部が沈んでいる; 付近に後期旧石器時代の遺跡が多い。

wading bird = **wader** 2。

wading pool (公園などの) 浅い子供用プール, 水遊び場。[1923]

wad-mal [wádməl|wád-] *n.* 抱いて寝た, 毛羽のあふれた毛織物; 青いグランドスキャンジニアで冬物衣料に用いた。(また **wad-maal**, **wad-mel**, **wad-mol**, **wad-moll**) [1392. 中 *wad* 古ノルド *vathmal* = *vath* 布 + *mál* 量 (PIECEMEAL)]

Wad Me-da-ni [wádmədni|wádməni] ワドメダニ: アフリカ, スーダン東部, 青ナイル (Blue Nile) に隣り都市; 灌漑(かんがい)農業地帯の中心地。

wad-na [wádnə] (スコット) would not の縮約形。[wad (would) の異形] + *na*]

wad-set [wádsɛt|wád-] [スコット法] — *n.* 抵当。 — *v.t.* (*-set, -ted, -set-ting*) (家・土地などを) 抵当に入れる。[中 *wedset* のスコットランド方言形]

wa-dy [wádi|wádi] *n.* (pl. *-dies*) = **wadi**。

W.A.E., w.a.e. when actually employed。

wae-sucks [weɪsəks] *interj.* (スコット) = **alas**。(また **wae-suck** [weɪsək])

Waf [wáf] *n.* 1 (米軍) 空軍補給部隊。2 (1) 部隊員。(また **WAF**) [1948. *W(omen in the Air) Force*]

w.a.f. with all faults [商業] いっさい買ひ主の責任で, 損保保証せず。

Wafa Wakalit Anba Filistin Althawrah パレスチナ解放戦役。

Wafd [wáf|wáf|wáf] *n.* ワフド党 (Wafd party): エジプトの民族主義政党; 1924年に成立し, 反英独立闘争を推進; 52年, エジプト革命の成功で解散した; 84年議院に再選出された。[アラビア: 字義は「代表者」] ~1st *n.* *adj.*

wa-fer [wáfər] *n.* 1 (1) (菓子の) ウェハース: (as) thin as a ~ ごく薄い。(2) アイスクリームを挟んだウェハース。2 聖餅(せい), ホスチア: ローマカトリック教会の聖体祭儀で用いるパン種を入れた薄い丸パン。3 (手紙の封などに用いる) 乾燥紙にのり, 封紙(は)紙。4 (医学) ウェファー: 粉薬を包んで飲み込むためのオブラート, カシエリ (cachet) など。5 (座金 (washer) や絶縁物などの) 小さな薄い円盤。6 (電子工学) ウェハ: シリコンやガリウムと素子と半導体の半導体インゴットを数百ミクロンの厚さに裁断したもの; 通例, 円形で片面が鏡面切り上げされている。 — *v.t.* 1 (封紙紙などで) ~の封をする [閉じる]; ~を (…に) 張りつける [to ...]: ~ a letter 手紙に封をする。2 (干し草などを) 薄板状に圧縮する。3 (電子工学) (シリコンやガリウム) ウェハにする。[1377. 中 *wafre* 中オランダ *wafer* (wafel) WAFLE の異形] ~like, ~y *adj.*

wafer-board *n.* ウェハボード: 薄さ・長さ・一定の敷板の木板, 防水性フェノール樹脂で高圧・高圧のもとに接合して作った構造材。

wafer chip [コンピュータ] ウェハチップ: 大きなシリコンウェハ上に回路を載せて, 多くのチップを集めたものと同時に機能を高速に実行できるようにするチップ。[1981]

wafer tape [コンピュータ] 超細型テープ (の), ウェハテープ (の) (駆動装置)。(また **wafer-tape**)

wafer-thin *adj.* 1 非常に薄い: a ~ slice ごく薄い 1 切れ。2 僅差(さ)の: a ~ victory きわどい勝利。

waft [wáf|wáf] *v.* (1) (空気・風などの) 吹き (puft, blast); ぶよとくるにおい。2 ちらりと見ること。 — *v.t.* (手・指などを) 振る動き, はたき。4 (風邪など) 軽い病気にあたること。5 幽霊 (wraith)。 — *v.i.* (顔などを) はたき。 — *v.t.* (旗などを) 振る。[1600. 方言 *waff* 振る (wave) の派生語]

waff [wáf] *adj.* (スコット) つまらない, 取るに足りない, 身分低い。

Waf-fen SS [wáfən] パッフェン SS, 武装親衛隊: ナチスドイツの SS (親衛隊) で, 戦闘組織として編成された部隊 (1933-45)。[<独: 逐語訳すれば military SS]

waf-fer [wáf|wáf] *n.* (主に米・カナダ) ワッフル: ケーキ種をワッフル焼き型 (waffle iron) に流して焼いた, 両側に網を繞るような模様のあるパンケーキの一種。 — *adj.* (また **waf-fer**) (織物の) 模様が 格子 (grid) の: a ~ pattern 格子模。[1744. <オランダ *wafel*]

waf-fer [wáf|wáf] *n.* (主に英語) — *v.t.* (…について) 言葉を濁す, 言いわけをする, あいまいな [素直でない] ことを言う [on, about ...]: ~ on an important issue 重要な問題について言葉を濁す。 — *v.i.* (…について) あいまいなことを言う [書く]; 素直でない態度を取る。 — *n.* あいまいな言葉, どちらつかずの発言。[1900. もとは方言 (スコットランド, 北部イングランド) 振る, はたき, ひらひらする, ためらっている; おそらく *WAF* + *-le*] **waf-fer** *n.* **waf-fer** *adj.*

waf-fer [wáf|wáf] *n.* (英) — *v.t.* たま言を並べ立てる, (…について) 無駄口をたたく [about ...]; おしやべりをし時を無駄に過ごす [on]。 — *n.* (話) 中身の無い話, 無駄口, おしやべり, 駄弁。[c 1701. もとは方言 (北イングランド); *waf* は振る (振る) + *-le*] **waf-fer** [wáf|wáf] *v.t.* (米俗) ~を踏みつける, 踏みにじる。

waffle cloth = **wafflecomb** 5 (1)。

waffle iron 1 = **honeycomb** 2 (米俗) 歩道にある地下鉄などの換気口の鉄格子。

waffle slab (建築施工) ワッフルスラブ: 深いリブ (rib) が正方形の格子状になった鉄筋コンクリートの床および屋根; 梁(はり)をばねに広げ床と屋根がでる。

waffle-stomper [stämpəz|stämp-] *n. pl.* ワッフルストンパー: 底に隆起のあるくぶしまのハイキングブーツ。[1972. 米]

waffle weave ワッフル織り: ワッフルの表面に似た梳き網のような模様を織り込んだ紡織物。

waf-ling [wáf|wáf] *adj.* (話) あいまいな, はっきりしない; どちらつかずの, 煮えきらない: a ~ politician どちらつかずの政治家。 — *adv.*

W. Afr. West Africa; West African。

WAFS, W.A.F.S. Women's Auxiliary Ferrying Squadron. [1940. 米]

waft [wáf|wáf|wáf] *v.t.* 1 (空中・水上を) 軽やかに運ぶ; (風・音など) を運ぶ。 — *v.i.* (葉・花粉などを) ふわりと運ぶ: The gentle breeze ~ed the sound of music to our ears. そよ風に乗って音楽の調べが聞こえてきた / An appetizing scent ~ed itself from the kitchen. 台所からおいしそうなにおいがしてきた。2 (比喩的) 軽やかに運ぶ [送る], 軽く投げかける [to, into ...]: The actress ~ed kisses to her admirers in the audience. その女優は観客の中のファンに向かって軽く投げキスをした。3 (鳥) 手を振って合図する [呼ぶ, 指図する]。 — *v.i.* 1 (特に空中を) 浮動する, 漂う: The music ~ed across the lake. 音楽が湖を漂っていた。2 (風が) そよそよ吹く。 — *n.* 1 軽やかに運ばれる音 [においなど]: a ~ of mechanical troubles with the spacecraft 宇宙船の機械の乱調を伝えるかすかな音。2 ふわりとした動き: (風・煙・霧など

の) 軽い流れ, 一吹き [of ...]; 一吹き (の) 風 (gust); [比喩的] かすかな [つかのまの] もの: a ~ of air そよと動く空気 / a ~ of joy つかのまの喜び。3 ふわりと運ぶ [送る] こと; 漂うこと, 浮動。4 (また **waif, whet, wift**) [海事] 信号 [風見] 用旗。5 (鳥の) 羽ばたき。6 ゆっくりした手の動き。[1542. 中 *waughier* 武裝護衛船] からの逆成くオランダまたは低地独 *wachter* 「夜警」; いづかの語彙では *WAF* と混同] ~er *n.*

waft [wáf] *n.* (スコット) = **weft** 1。

waft-age [wáf|tɪdʒ, wáf|t-|wáf|t-] *n.* 1 ふわりと運ぶ [送る] こと; (船による) 輸送。2 漂っている状態, 浮動, 浮遊。[1589]

waft-ure [wáf|tʃər, wáf|t-|wáf|t-] *n.* 1 ふわりと運ぶ [送る] こと; 漂うこと, 浮動。2 (微風・波などに乗って) ふわりと運ばれるもの, 漂うもの: ~s of incense 漂っている香。[1601]

WAG [国際自動車識別記号] West Africa Gambia。

wag [wæg] *v.* (wagged, wag-gings) *v.t.* 1 (動物が) (尾などを) 振る, 揺る, 振り動かす; (あいさつなどを) 尾を振って送る: a dog wagging its tail 尾を振っている犬 / The dog wagged a greeting. その犬は尾を振ってあいさつをした。2 (無駄話・おしゃべりなど) (舌・舌など) しきりに動かす: wag one's tongue [or beard, chin, jaw] in gossip べらべらとうわさ話をする。3 (人) (舌) 振る: (人) 振る: wag an admonitory finger at her 彼女に指を振って警告する / wag one's head 首を強く振る [or 軽蔑・喜びの動作]。4 (1) (wag it) [英俗] 学校 [仕事など] をサボる, する休みする。(2) (豪俗) [学校を] サボる。 — *v.i.* 1 (頭・尾などが) しきりに動く [揺れる]: The dog's tail wagged. 犬の尾がしきりに振られた。2 (うわさ話などで) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

the tail wagging the dog [dog] *TAIL* (成句) — *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let the world wag how it will. 世の中ので成り行きに任せなさい。4 ようよろしく; ふらふらする: He wagged along the edge of the street. 彼は通りの端をふらふらと歩いていった。5 (英語) (学校・仕事) をする休みする, サボる [off]。6 (指・頭など) (非難・軽蔑などを表して) 振られる。

— *n.* 1 (通例) 単数形 (頭・尾などを) 振る [揺る] こと; 一振り, 一揺り [of ...]: a friendly wag of the tail 人なごころしに振ること。2 (うわさ話など) (舌・舌など) 絶えず [盛んに] 動く: Tongues were wagging all over town. 町中がうわさで持ちきりだった / Her behavior caused local tongues to wag. 彼女の行状は土地の人たちのおしゃべりの種になった。3 (英語) (人) が 出発する, たつ, 旅する, 旅行する; [古] (世の中・事態が) 動く, 進む, 進行する: Let

小学館 ランダムハウス英和大辞典
NEW SHOGAKUKAN RANDOM HOUSE
ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY

1973年10月1日 初版発行
1994年1月1日 第2版第1刷発行
1996年2月10日 第2版第4刷発行

編 者 小学館ランダムハウス
英和大辞典第二版
編 集 委 員 会
発 行 者 樋 口 信 也

発 行 所 〔郵便番号101-01〕
東京都千代田区一ツ橋2-3-1
株式会社 小 学 館
電話 編集 東京 (03)3230-5169
制作 東京 (03)3230-5333
販売 東京 (03)3230-5745
振替 00180-1-200

印 刷 所 大日本印刷株式会社
特渡本文用紙 本州製紙株式会社
表紙クロス 東洋クロス株式会社
製 本 所 文勇堂製本工業株式会社
株式会社若林製本工場
牧製本印刷株式会社

©Shogakukan Inc. 1994 Printed in Japan

本書の一部あるいは全部を無断で複製・転載することは、
法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利
の侵害となります。あらかじめ小社あて許諾を求めてくだ
さい。

図〈日本複写権センター委託出版物〉

本書の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、
著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書から
の複写を希望される場合は、日本複写権センター(☎03-5401
-2382)にご連絡ください。

造本には、じゅうぶん注意しておりますが、万一、落丁、乱
丁などの不良品がありましたら、「小学館制作部」あてにお
送りください。送料小社負担にて、お取り替えいたします。

ISBN4-09-510101-6